



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月6日

上場会社名 株式会社ケアサービス 上場取引所 東
 コード番号 2425 URL http://www.care.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 福原 敏雄
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経理財務部門長(氏名) 太田 健太郎 (TEL) 03-5753-1170
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,362	2.1	106	△38.5	167	△8.4	82	△21.8
28年3月期第3四半期	6,229	—	173	—	183	—	105	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 81百万円(△21.5%) 28年3月期第3四半期 104百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	42.59	—
28年3月期第3四半期	53.88	—

(注) 平成28年3月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	2,738	1,248	45.6
28年3月期	2,887	1,221	42.3

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 1,248百万円 28年3月期 1,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				13.50	13.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,581	3.4	283	16.8	278	8.8	158	8.1	81.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年3月期3Q	2,100,000株	28年3月期	2,100,000株
29年3月期3Q	203,300株	28年3月期	158,700株
29年3月期3Q	1,933,828株	28年3月期3Q	1,953,825株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の緩やかな回復基調が続く一方で、実質金利の低下や個人消費の低迷、中国をはじめとするアジア新興国における成長の鈍化に伴う景気の下振れリスクが引き続き顕在化しており、依然として先行きに不透明な状況が継続しております。

介護業界におきましては、国内の高齢化がさらに進み、介護サービスの需要は高まっているもののサービスを担う人材の十分な確保が難しく、引き続き介護事業者の大きな経営課題になっております。また、平成27年4月に行われた介護報酬改定による大幅な報酬単価引き下げの影響が顕著となり、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは既存事業の合理化・効率化を進める一方、海外事業や国内新規事業等の新たな取り組みに向けての準備を進めてまいりました。当第3四半期連結累計期間においては、将来の展開を意識した利益確保と強固なドミナントエリア形成に向けて、事業所の統廃合による合理化及び人員配置の最適化を推進してまいりました。介護事業において、採算性が低く赤字が継続している5事業所を近隣の事業所へ統合し、お客様と従業員を引き継いだことにより、高収益体質への強化を図りました。また、統合が難しい3事業所については、事業の根本的な見直しを行い、事業所の休止・廃止を実施いたしました。今後の新規出店に関しては、採算性を重視し、対象となる地域の顧客データやテナント賃料、建設コストなどを慎重に見極め判断を行ってまいります。

また、平成27年8月に設立した中国子会社「上海福原護理服務有限公司」（以下、「上海ケアサービス」という。）では、介護職員向けの介護研修講座の提供に次ぐサービスとして訪問入浴事業を実施しております。その訪問入浴事業が、平成28年5月に開催された上海市民政局主催の介護サービスのコンテストである『上海養老服務創新実践案例評選』において、海外資本の民間企業が提供するサービスとして唯一、最優秀賞を受賞いたしました。今回の受賞によって、上海ケアサービスの知名度が上がり、平成29年1月より一部の地区において実験的に介護保険の施行が始まった上海市において、より多くの高齢者の方々に訪問入浴サービスをご利用いただけるように展開を図ってまいります。また、平成28年11月より上海市内の国営の殯儀館（葬儀場）のひとつである上海松江区殯儀館（葬儀場）にて、エンゼルケア事業の操業を開始いたしました。長年日本で培ってきた高い品質はそのままに、確かな実績を積み上げ、次なる国営殯儀館（葬儀場）との契約を目指してまいります。

売上高につきましては、介護事業の主力であるデイサービスとサービス付き高齢者向け住宅『フォーライフ』における稼働率向上やデイサービスの日曜営業による営業日増の影響により前年同期比で増収となりました。

一方、利益につきましては、介護事業において、既存事業における人件費の増大に加えて、デイサービス以外の介護事業の売上高の低迷があったものの、デイサービスの増収、事業所の統廃合による合理化及び人員配置の最適化による経費圧縮により、前年同期比で増益となりました。また、エンゼルケア事業において、上期後半に季節要因により売上高の急激な落ち込みがありました。下期に入り、復調の兆しがみられておりますが、売上高の落ち込み分の影響が残り、減益となりました。

なお、営業外収益にて事業所立ち退きに伴う受取和解金等を、特別損失にて事業所閉鎖損失及び固定資産除却損等を計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,362百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は106百万円（同38.5%減）、経常利益は167百万円（同8.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は82百万円（同21.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,962百万円(前連結会計年度末2,057百万円)となり、95百万円減少しました。売掛金の増加21百万円、現金及び預金の減少105百万円、流動資産その他の減少11百万円が主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、775百万円(前連結会計年度末829百万円)となり、53百万円減少しました。無形固定資産の減少30百万円が主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,064百万円(前連結会計年度末1,060百万円)となり、4百万円増加しました。短期借入金の増加90百万円、未払費用の増加40百万円、流動負債その他の増加52百万円、未払法人税等の減少71百万円、賞与引当金の減少93百万円が主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、424百万円(前連結会計年度末604百万円)となり、179百万円減少しました。長期借入金の減少155百万円、固定負債その他の減少32百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,248百万円(前連結会計年度末1,221百万円)となり、26百万円増加しました。配当金24百万円、自己株式の増加30百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益82百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表いたしました、平成29年3月期の通期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(特定子会社の設立)

当社は、平成28年12月16日開催の取締役会において、以下のとおり、子会社を設立することについて決議いたしました。当該子会社は出資が完了しますと、資本金が当社の資本金の10%以上に相当し、当社の特定子会社に該当することとなります。

1. 子会社設立の目的

当社は、介護事業者向けの人事業務代行業、人材紹介業、人材派遣業を営む子会社を設立することといたしました。当該子会社においては、実際に介護事業を営む当社の利点を生かし、介護事業者から真に求められる人材を提供するとともに、介護業界全体の人材力向上に向けて注力してまいります。

2. 設立する子会社の概要

(1) 名称	株式会社ケアサービスヒューマンキャピタル
(2) 所在地	東京都大田区大森北一丁目2番3号 大森御幸ビル5F
(3) 代表者の役職氏名	代表取締役社長 福原 俊晴
(4) 事業内容	人事業務代行業、人材紹介業、人材派遣業
(5) 資本金	30百万円
(6) 設立年月日	平成29年4月1日(予定)
(7) 出資比率	当社100%

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	650,410	544,947
売掛金	1,268,927	1,290,926
その他	138,736	126,926
貸倒引当金	△377	△252
流動資産合計	2,057,697	1,962,546
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	274,728	265,035
その他(純額)	41,836	37,201
有形固定資産合計	316,564	302,237
無形固定資産		
131,203	131,203	100,388
投資その他の資産		
敷金及び保証金	287,715	286,202
その他	94,382	88,218
貸倒引当金	△476	△1,185
投資その他の資産合計	381,621	373,235
固定資産合計	829,390	775,861
資産合計	2,887,088	2,738,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,388	151,095
短期借入金	—	90,000
1年内返済予定の長期借入金	232,192	210,416
未払費用	251,523	291,961
未払法人税等	95,689	23,733
賞与引当金	119,062	25,603
事業所閉鎖損失引当金	3,160	5,571
その他	213,575	266,344
流動負債合計	1,060,592	1,064,725
固定負債		
長期借入金	418,926	263,593
退職給付に係る負債	83,249	91,594
その他	102,381	69,649
固定負債合計	604,556	424,837
負債合計	1,665,148	1,489,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	205,125	205,125
資本剰余金	138,075	138,075
利益剰余金	998,112	1,056,210
自己株式	△117,356	△148,107
株主資本合計	1,223,955	1,251,303
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,016	△2,457
その他の包括利益累計額合計	△2,016	△2,457
純資産合計	1,221,939	1,248,845
負債純資産合計	2,887,088	2,738,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	6,229,063	6,362,836
売上原価	5,426,837	5,570,114
売上総利益	802,225	792,721
販売費及び一般管理費	628,822	685,995
営業利益	173,402	106,726
営業外収益		
受取和解金	—	60,000
その他	15,244	11,313
営業外収益合計	15,244	71,313
営業外費用		
支払利息	3,476	2,586
遊休資産諸費用	—	4,325
その他	1,856	3,236
営業外費用合計	5,332	10,148
経常利益	183,314	167,891
特別損失		
事業所閉鎖損失	—	13,758
事業所閉鎖損失引当金繰入額	—	5,571
固定資産除却損	—	4,917
特別損失合計	—	24,247
税金等調整前四半期純利益	183,314	143,643
法人税、住民税及び事業税	34,144	28,166
法人税等調整額	43,892	33,112
法人税等合計	78,036	61,278
四半期純利益	105,278	82,364
親会社株主に帰属する四半期純利益	105,278	82,364

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	105,278	82,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△140	—
為替換算調整勘定	△796	△441
その他の包括利益合計	△936	△441
四半期包括利益	104,341	81,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,341	81,923

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(子会社の増資)

当社は、平成29年1月20日開催の取締役会において、当社の連結子会社である上海福原護理服務有限公司が増資を行い、その全額を当社が引き受けることについて決議いたしました。

1. 増資の目的

上海福原護理服務有限公司は、中国国内における「介護からエンゼルケアまで」の一貫したサービスの提供を目指し、平成27年8月8日、中国上海市に設立されました。このたびの増資は、さらなる事業の強化と業容拡大を目的に運転資金を確保するものです。

2. 増資する子会社の概要

(1) 名称	上海福原護理服務有限公司
(2) 所在地	中華人民共和国上海市
(3) 代表者の役職氏名	董事長 福原 敏雄(当社代表取締役社長)
(4) 事業内容	中華人民共和国における介護事業、エンゼルケア事業及び関連事業
(5) 設立年月日	平成27年8月8日
(6) 増資前の資本金	350,000 USD
(7) 出資比率	当社100%

3. 増資の概要

(1) 増資金額	350,000 USD
(2) 増資後の資本金	700,000 USD
(3) 現在の最大投資総額	500,000 USD
(4) 増資後の最大投資総額	1,000,000 USD
(5) 割当先	当社
(6) 増資前の出資比率	当社100%
(7) 増資後の出資比率	当社100%
(8) 払込日	平成29年2月下旬予定